

◆**今村（いまむら）さんのプロフィール**
 氏は、大学で酪農を専攻していたが水稲を中心とした経営に昭和52年に就農。水田に、水稲800a、野菜として玉ねぎ、キャベツ、ブロッコリー、ニンニク、白菜など年間40〜50種類の少量多品目を栽培。20年経営は、夫婦2人、3人雇用で生産から出荷作業まで実施。町内の有機部会員20名と協力して販売している。



今村 君雄さん

◆**有機農業を始めた動機**
 就農前から有畜複合経営を目標にしていたことから、昭和55年に有機農業を実施している人から鹿兒島市の園山氏を紹介された。有機農業に取り組み始めたきっかけは、有機JAS認定農産物と化学肥料と農薬を5割削減する特別栽培農産物の生産に取り組んでいる。何らかのこだわりを持っていないで、近場で手に入る米ぬかや鶏ふんなど、何でも使用する経営を実践。

◆**病害虫対策**
 苗作りをしつかりやることで丈夫な苗にしている。雑草をきちんと刈り取りする。有機質肥料の散布時期を見極め、肥効が切れないようにする。

◆**苦労している点**
 自分達で値決めしている農産物もあるが、有機JASをやっても、価格に反映できない。有機農業は、収量が安定しておらず、リスクが大きい。

◆**有機農業を始める人へ**
 今の若い人は、仕事の段取りや臨機応変な対応が出来ない。何にでも、耐えられる精神力を持って欲しい。おおざっぱな面を持ちながら、細かい勉強してもらいたい。有機農業は、期待すぎても、生半可な気持ちでも失敗すると思う。



包装作業中の奥様

◆**今後の抱負**
 有機農業の広がりが少ないので、消費者との交流会などで、広げていきたい。地域の有効利用を考えてみたい。農地の有効利用を考えてみたい。

◆**消費者との交流**
 生協組合員との田植えなどの親子交流会や玉ねぎなどを使った有機野菜を使った料理講習会の開催を実施。



水稻(生協の認証ほ場) 及びなす(有機JAS認定ほ場)

◆**主な販売先**
 有機農産物は、農協を通じて始良有機部会として出荷分とがごしま有機生産組合に出荷中。(地元、大手量販店において写真入りで販売)

お問い合わせ
 電話・FAX

0995-1651-0831